

残った PPX プライマーの使用法

2021.02.18
トミー・マック

1. 要 点

難接着材料と呼ばれるPP（ポリプロピレン）樹脂やPE（ポリエチレン）樹脂・POM（ポリアセタール）樹脂などは接着が難しく、その代表的な接着剤としてPPXがあります。

しかしPPXは一般の瞬間接着剤と同じく、空気中の水分で固まってしまうので保管が難しく、使い切る前に固まってしまう、同時に使うPPXの硬化促進の「プライマー」が残ることがあります。

そこでこの残った「プライマー」を使い切る方法を探します。

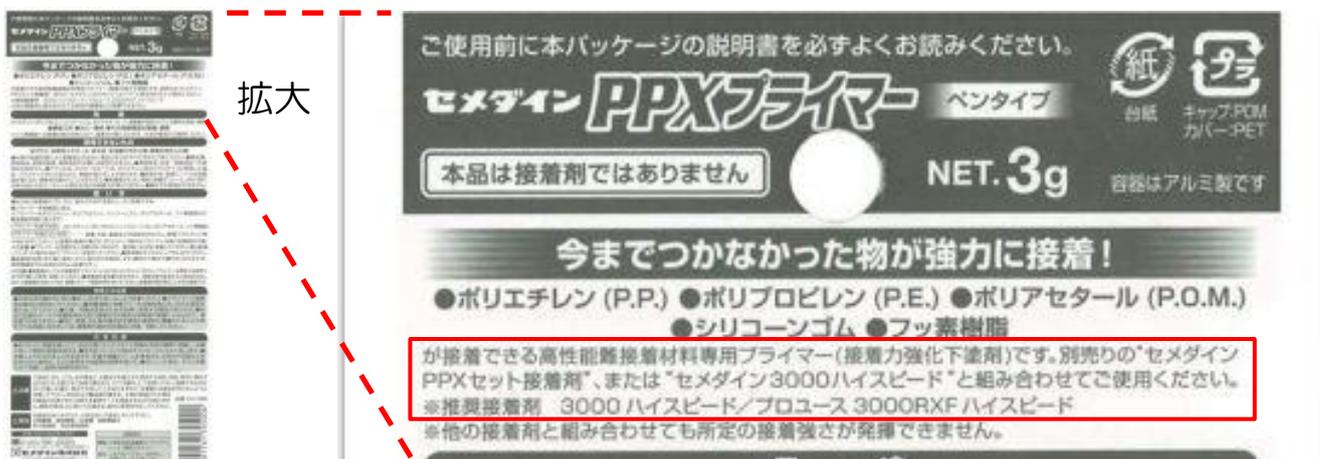


2. 材 料（接着剤）

このPPXのプライマーは単独でも販売されており、スティック状の物と業務用の金属缶状があります。



CA-086は、送料を別にするると約630~1350円で、色々な通販ルートで販売されています。また、パッケージ裏面の赤枠部で囲んだ箇所に、



別売りの“セメダイン PPX セット接着剤”、または“セメダイン 3000 ハイスピード”と組み合わせてご使用ください。

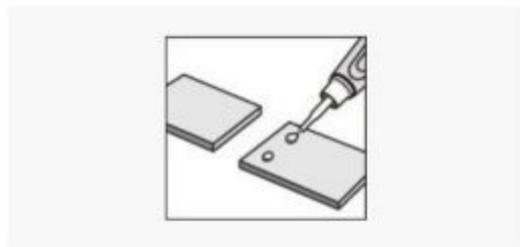
※推奨接着剤 3000 ハイスピード/プロユース 3000RXF ハイスピード

残った PPX プライマーの使用法

またセメダイン（株）ホームページ上の「PPX プライマー」の商品説明にも、同様のことが書かれています。

https://www.cemedine.co.jp/home/adhesive/polyolefin/ppx_p.html

③ 接着剤を片面に塗布します。



別売りのセメダインPPXセット接着剤または3000ハイスピード、プロユース3000RXFハイスピードと組み合わせてご使用ください。

そうすると、単品で販売されている以下の2つが使いそうです。

3000ハイスピード

CA-155

3g



3000ハイスピードスリム

CA-273

3g



この2つの違いは良く分かりませんが、成分が同じなのでどちらも使いそうです。

ただ理由は分かりませんが、AMAZONで、参考価格がほぼ同じ価格なのに、CA-155が198円、CA-273が318円（送料は対象商品¥2000以上で通常配送無料）で販売されています。

（2011.02.17 時点）

これで使い残ったPPXの「プライマー」を使い切ることができます。

終わり